

まゆみがゆく

連載第57回
若戸大橋60年の巻



昭和37年(今から62年)開通しました。若戸大橋は市民に親しまれる若戸大橋は、

赤い塔は、それから60年、人間でたとえると、

若戸大橋は国の重要文化財の指定も受けました。市政60周年にむけて、事業に取り組みたいと思います。

本市誕生と同じ世代の私もはげみに なります。



みやけ
三宅まゆみのプロフィール
PROFILE
若松区選出・59歳

生年月日: 昭和38年(1963)7月1日生まれ
星座: かに座
血液型: A型
家族: 夫(元県議会議員 野村陽一)、一男(16才)
趣味: 自然に触れる事、食に関する事
好きな言葉: 一生感動 一生勉強
学歴: 県立若松高等学校卒業、長崎ウエスレヤン短期大学英語科卒業、北九州市立大学法学部II部行政学卒業、九州大学大学院法学府政治学専攻(修士)修了
職歴: 毎日新聞西部本社、アジア太平洋博覧会勤務などを経て、北九州市議会議員(平成9年より)現在に至る
所属: 教育文化委員会

若戸大橋ウォーキングの申し込みについて

北九州の誇りが日本の誇りに。
みんなで祝おう、歩こう若戸大橋。

参加には事前の申し込みが必要です。WEBまたははがきでご応募ください。

一般応募枠 ※下記必履
8月1日(月)~8月26日(金)

▲詳しい応募要項はこちら

お問合せ
若戸大橋ウォーキング事務局
〒803-0817
北九州市小倉北区田町11-13
(西日本新聞広告社 九州支社)
TEL.093-591-2133
*対応時間: 平日10:00~17:00

先行抽選!
若松・戸畑区の方
地元応募枠あります

1963年撮影

2022.10.23 (sun)
11:00~14:00

- 参加料 1,000円 (高校生以下無料)
- 参加者募集 8,000名 (応募多数の場合抽選)
- 参加条件: 小学生以下は保護者の同伴が必要(保護者1名に対し小学生以下2名まで)
- 車椅子での参加の場合は介助者の同伴が必要
- 参加人数: 最大10名まで(乳幼児も人数に含まれます)複数申し込み不可
- コース: 戸畑側旧料金所跡地付近から若松区役所までのウォーキング(約3km)
- ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
- 主催: 若戸大橋ウォーキングイベント実行委員会・北九州市

一般家庭向け省エネ家電普及促進事業について

北九州市内にお住まいで市内の店舗(インターネット不可)で家庭における**省エネ型冷蔵庫、テレビ、エアコン**を購入した方に**デジタル商品券最大12,000円分**または**商品券最大10,000円分**が配布されます。

【期間】令和4年7月15日~令和5年1月31日まで(予算の上限で終了)
お問い合わせ 事務局 0570-040-200 (通話料金要) ※必ず確認して購入して下さい。



今年の2月の東京大学の仲田准教授らによる推計によると、コロナ禍で失われた婚姻が約11万件とのことで、今後の出生率の低下も大変心配されます。私もこれまで時折身上書をお預かりし周りの方にお問い合わせしていましたが、コロナ禍では結婚式も新婚旅行も難しいとお見合いをされる方も少ない状況です。

少子化は社会活力の低下、経済規模の縮小、労働力不足、過疎化でコミュニティ機能の低下等、社会的影響が大きく大変危惧されます。全国で2000年には約119万人だった出生数が2020年には約84万人に減少し、2022年度中の80万人割れが現実視されているそうです。

コロナ前の当たり前が当たり前でないこの時代の中で、いかに望む方が望む数の子どもを持てるようになるか、また生まれた子どもたちを健やかに育ていけるか、そして少子高齢社会を守っていくのか試されているようにも思います。

限られた予算の中で皆様のお声を大切に議論しながら頑張ってお参ります。



市政に関するご相談は
下記の三宅まゆみ事務所までお気軽にご連絡下さい

三宅まゆみ 事務所

〒808-0063 若松区和田町16-4
Tel 093-751-8206 Fax 093-752-0787
E-mail mayu1717@bronze.ocn.ne.jp
http://www.mayumi-arigato.jp/



北九州市議会 ハートフル北九州

〒803-0813 北九州市小倉北区城内1-1 Tel 093-582-2658 Fax 093-582-4867

北九州市議会



ハートフル北九州

市議会議員

三宅まゆみのニュースレター

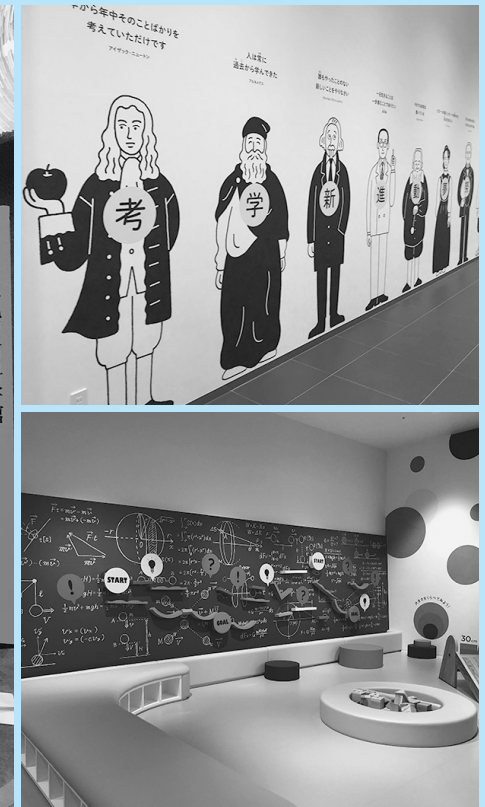
No.72
SUMMER
2022

Mayumi Miyake's NEWS LETTER

市議会議員 三宅まゆみのニュースレター ●2022年夏号[通算72号] ●2022年8月1日発行 ●発行人・編集人:三宅まゆみ



北九州市科学館スペースLABO開館記念式典にて



皆様からのご意見やご相談を
市政に活かして参ります。

今年はあつという間に梅雨が明け、暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか? 梅雨ではなく最近夏場に短時間で猛烈な雨が降る線状降水帯が発生し、先日のように各地に被害をもたらすことがあり今後も注意が必要です。

参議院選挙が終わり結果は様々に思うところがありますが、この選挙中に安倍元首相が銃撃されお亡くなりになるという想像を絶する事件が起きました。どんな恨みがあったとしてもこのような犯罪は決して許されるものではありません。謹んでご冥福をお祈り申し上げ、二度とこのような事件が起こらない社会にしていかなければと思います。

この約2年間、新型コロナの感染拡大によって、行動を制限されたり、様々な活動ができなくなり、子どもたちの学校生活にも影響が出たり、経済的ダメージは様々なところで計り知れない状況です。今年に入って徐々に感染拡大が落ち着いてきていたものの、7月頃よりまた大きく増加に転じるなど厳しい状況です。皆様くれぐれもお気をつけ下さい。

加えて2月24日にはじまったロシアによるウクライナ侵攻により、原油の高騰、急激な円安、急速な物価高と私たちの生活は厳しくなるばかり。国際的な影響が大きいとはいえ、市でできる事はしっかりと対策をとっていかなければなりません。皆様からの様々なご意見やご相談をしっかりと受け止めて活かして参りたいと思います。お電話でも結構ですし、事務所に来ていただかなくてもお話を伺いに参ります。どうぞ事務所までご連絡下さい。

◎このニュースレターは、市議会各派に交付される政務活動費を用いて作成しています。 ◎この印刷物は再生紙を使用しています。
◎重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが三宅まゆみ事務所までご一報ください。